

鹿児島県園芸振興協議会始良支部

	系 統 名	成 分 名	I F R A C C コ ー ド (殺菌剤剤)	農 薬 名	予 防 効 果	治 療 効 果	使 用 時 期 日前まで	散布量(ℓ/10a)	農薬使用回数		成分使用回数	毒 性	適 用 病 害 虫 名																
									回以内	回以内			黒 と う 病	晩 腐 病	褐 斑 病	灰 色 か び 病	う ど ん こ 病	べ と 病	ア ザ ミ ウ マ 類	チャノキイロアザミウマ	コガネムシ類	ブドウトラカミキリ	ハダニ類	アカガネサルハムシ	コウモリガ	カイガラムシ類	コナカイガラムシ類	クワコナカイガラムシ	ハマキムシ類
殺 菌 剤	無機殺菌	塩基性硫酸銅	M1	I C ボ ル ド ー 48Q	○		－	200 ～ 700	－	－		普						○											
			M1	ムッシュボルドー DF	○		－	200 ～ 700	－	－		普							○										
	有機銅	有機銅	M1	キノンドーフロアブル	○		45日	200 ～ 700	4(開花後1)			普	○					○											
	有機硫黄	マンゼブ	M3	ジマンダイセン水和剤	○		45日	200 ～ 700	2	2		普	○	○	○			○											
	ベンゾイミダゾール	チオファネートメチル	1	トップジン M ペースト	－	－	剪定整枝時	－	3	5(塗布3)		普		○		切り口及び傷口のゆ合促進													
	SBI	テブコナゾール	3	オンリーワンフロアブル	○	○	前日	200 ～ 700	3	3		普	○	○	○	○	○												
	アミド	ベンチオピラト	7	フル ー ツ セ イ バ ー	○		7日	200 ～ 700	3	3		普	○	○	○	○	○												
		エタボキサム	22	エトフィンフロアブル	○	○	7日	200 ～ 700	4	4		普						○											
	混合剤	①シプロロジニル②フルジオキシニル	9, 12	ス イ ッ チ 顆 粒 水 和 剤	○	○	30日	200 ～ 700	2	①2 ②3		普		○		○													
		①オキサチアピプロリン②マンジプロバミド	49,40	オロンディスウルトラ SC	○		14日	200 ～ 700	2	①2 ②3		普						○											
		①イミクタジン酢酸塩②ホリオキシン複合体	M7, 19	ポ リ ベ リ ン 水 和 剤	○	○	60日	200 ～ 700	2	①3 ②5		普	○	○	○	○	○	①3(休眠期1,生育期2)											
		①フルオビコリド②ベンチアバリカルブイソプロピル	43,40	ジャストフィットフロアブル	○	○	30日	200 ～ 700	3	①3 ②3		普						○											
	その他	ジチアノン水和剤	M9	デ ラ ン フ ロ ア ブ ル	○		休眠期	200 ～ 700	1	3(休眠期1)		劇	○	○		他病害でも登録はあるが、登録内容が異なる													
		TPN(テトラクロイソフタロニトリル)	M5	パスポート顆粒水和剤	○		休眠期	100 ～ 300	1	3(休眠期1)		普	○	○															
		シアゾファミド	21	ランマンフロアブル	○	○	14日	200 ～ 700	3	3		普						○											
		フルアジナム	29	フ ロ ン サ イ ド SC	○		21日	50～100ℓ/樹	1	2(土壌灌注1)		普	白紋羽病：土壌灌注(他病害でも登録はあるが、登録内容が異なる)																
		インピルフルキサム	7	カ ナ メ フ ロ ア ブ ル	○		前日	200～700	3	3		劇	○		○	○	○												
		イソピラザム	7	ネクスターフロアブル	○		7日前	200～700	3	3		普	○		○	○	○												
		イブフルフェノキン	52	ミギワ 2 0 フ ロ ア ブ ル	○		前日	200～700	3	3		普	○	○	○	○													
殺菌 植調剤	抗生物質	ストレプトマイシン	25	ス ト マ イ 液 剤 20	－	－	満開予定日14日前～開花始期	－	1	1		普	無種子化																
殺 虫 剤	有機リン	MEP	1B	スミチオン水和剤 40	－	－	大粒種21日 小粒種90日	200 ～ 700 200 ～ 700	2	4(収穫終了後から萌芽までは2、萌芽後は2)		普									成	○		○			○		
			1B	ガ ッ ト サ イ ド S	－	－	幼虫食入期直前～食入初期(21日)	－	2			普												○					
	合成ピレスロイド	フェンプロパトリン	3A	ロ ビ ン フ ッ ド	－	－	前日	－	5	7(噴射は5、散布は2)		普											○						
	ネオニコチノイド	クロチアニジン	4A	ダ ン ト ツ 水 溶 剤	－	－	前日	200 ～ 700	3	3		普								○	○	○					○		
		チアメキサム	4A	ア ク タ ラ 顆 粒 水 溶 剤	－	－	7日	200 ～ 700	2	2		普								○							○		
	スピノシン	スピメトラム	5	デ ィ ア ナ WDG	－	－	前日	200 ～ 700	2	3(散布2)		普							○									○	
	殺ダニ	シエノピラフェン	25A	スターマイトフロアブル	－	－	14日	200 ～ 700	1	1		普											○						
		ピフルブミド	25B	タ ニ コ ン ク ー フ ロ ア フ ー ル	－	－	前日	200 ～ 700	1	1		普											○						
	ジアミド	シアントラニプロール	28	エ ク シ レ ル S E	－	－	前日	200 ～ 700	3	3		普							○		○								
		クロラントラニプロール	28	サ ム コ ル フ ロ ア ブ ル 10	－	－	前日	200 ～ 700	3	3		普																○	
その他	ピリフルキナゾン	9B	コ ル ト 顆 粒 水 和 剤	－	－	前日	200 ～ 700	3	3		普							○						○					

<表の見方> ○……対象病虫害に登録があるもの

注1)農薬使用回数については、有効成分が同一のものがあるため、各成分の種類ごとの総使用回数が限度となる。

注2)農薬の登録内容については、令和6年12月11日現在の登録内容に基づき記載。
適用病虫害名については、主な病虫害について記載した。その他については農薬のラベルを参照。

注3)防除の際は、周辺の農作物に飛散をしないように散布し、同時に外部からの飛散にも注意する。

注4)農薬使用時は農薬のラベルを熟読すること。